

校報 ふれあい

第300号
R4. 9. 20発行
発行者
雲南市立田井小学校
校長 井上 孝弘



3・4年：み～もスクール

2学期スタート

36日間の夏休みを終え、8月26日（金）に2学期が始まりました。

夏休み明けは、心身ともにバランスを崩すことがあります。13名の田井っ子は、全員そろって登校し、元気に2学期のスタートを切ることができ、嬉しく思いました。

この夏は、「コロナ禍」3年目となりましたが、行動制限がほとんど無くなったので、遠くへ遊びに行ったり、たくさんの人と出会ったりすることも多かったのではないかと思います。ただ反面、感染拡大は続いていましたので、心配することも多々あったのではないかと思います。このような中ではありましたが、子ども達は、保護者や地域の皆様の支えにより、この夏を楽しく有意義に過ごし、学校生活への「やる気」や「自信」を蓄えることが出来たのではないかと思います。ありがとうございました。

このようなスタートの中、始業式では、より充実した2学期となることを願い、次のような話をしました。



1・2年：保小交流

今日から2学期、みなさん一人一人が充実した学期にするために、1学期初めに確認した田井小学校の3つのめあてについて、もう一度考えてみたいと思います。

まず、「やる気 あふれる」田井小学校というめあてについては、1学期たくさんの「やる気」をみなさんが見せてくれましたので、この調子で引き続き頑張ってもらいたいと思っています。

次の「笑顔 あふれる」田井小学校というめあてについては、少し心配な面があります。それは新型コロナウイルスの感染についてです。

鳥根県でも毎日1000人前後の人が感染していますが、県の感染者数は、この2年半で約6万4千人となり、約10人に1人が感染したことになりました。さらに、全国では約1,700万人の人が感染しましたので、約7人に1人が感染したことになりました。

この数字から考えると、田井小学校のみなさんの人数は13人、先生たちを含めても20人くらいですので、誰がいつ感染してもおかしくない状況だと思っています。

そこで、いつまでもみなさんが元気で「笑顔 あふれる」学校生活をおくるためにも、これまでで行ってきた「マスク着用」「手指衛生」「3密回避」「人と人の距離」といった基本的な感染対策をもう一度見直して、よく考えより確実に行ってほしいと思っています。

ただ、今はいくら感染対策をしても感染してしまうこともある状況でもあります。この中の誰かが明日感染してしまうこともあるということです。もしも、感染した人が出れば、感染した人は、しっかりと休んで早く元気になってほしいと思っていますが、感染した人が、まわりの人たちの言動で嫌な思いをしたり、不安な気持ちになってはいけないとも思っています。

「みんなが安心して気持ちよく過ごせる学校」であれば、嫌な思いをしたり、不安な気持ちになることもないと思います。そして、感染した人だけではないですが、みんなが「安心して気持ちよく」過ごすためには、他の人から「大切にされる」ことが必要です。一人一人が、感染した人を含めて他の人を「大切にすること」ができれば、「みんなが安心して気持ちよく過ごせる学校」になり、もっと「笑顔 あふれる」田井小学校になると思います。

感染した人を含めて「他の人を大切にすること」ってどんなことなのか、この2学期しっかりと考え、しっかりと行動してほしいと思います。

最後は「自信 あふれる」田井小学校というめあてです。2学期は授業日数が81日あります。1年で一番長い学期になりますので、学習発表会などの様々な行事や日々の学習や生活をとおして、できることやわかることがどんどん増えると思います。どんどん自分に力をつけるチャンスです。そして、その力をどんどん自信にしてほしいと思っています。

4本柱「たたら・炭焼き体験」

「吉田中校で大切にしたい4本柱」の一つとして5・6年生が進めている「たたら・炭焼き体験」ですが、今月は「砂鉄集め・鉄穴流し」と「土ふるい・炭切り」の体験学習を行いました。前回同様、鉄の歴史村地域振興財団さんのご指導により、吉田小5・6年生と合同で進めました。



《砂鉄集め・鉄穴流し》

8日(木)には、砂鉄集めと鉄穴流しを行いました。砂鉄は木次町平田の石壺神社付近の斐伊川支流に入り、磁石を使って川底から集めました。以前は実際に鉄穴流しを行っていた場所らしく、思ったよりもたくさんの砂鉄を集めることが出来たのではないかと思います。



砂鉄集め後、田井小学校へ移動し、鉄穴流しを行いました。水道水を使って真砂土を洗いながら砂鉄を集める作業でしたが、グループの仲間と楽しみながら協力して行っていました。

この日は、丸1日の学習になりましたので、吉田小のみなさんは、本校で給食も食べ、短時間でしたが、一緒に遊ぶこともできました。

《土ふるい・炭切り》

9日(金)には、鉄の歴史村で土ふるいと炭切りを行いました。実際に小だたら操業で使う粘土と木炭にするために、土はふるって大きな小石などを取り除き、木炭は鉋を使って小さく

切っていました。この日も、グループの仲間と協力しながら安全に作業する様子が見られ、吉田小のみなさんとの交流もどんどん深まっていますと感じました。

これで、砂鉄・粘土・木炭がそろいました。次回は、いよいよ小だたら操業です。



タブレット活用

昨年度3学期から雲南市で始まった【GIGAスクール構想】ですが、今年度になり、一人一台の学習用タブレット端末の活用がどんどん拡がりを見せています。



3・4年生では、夏休みの思い出発表会でタブレットを活用してまとめたシートを使って発表する子どもの姿が見られました。また、5・6年生でも、1学期に防災に関するポスター作成にタブレットを活用し、発表会も行いました。1・2年生も、発見した昆虫などをタブレットで撮影し授業の中で発表する様子が見られています。

タブレットを使って、より多くの知識を習得するだけでなく、ポスターなどにまとめることで知識を構築したり、まとめたものを共有発表するなどできるようになっていますので、子ども達が力をつける機会もどんどん広がっていると思います。この力をぜひ「自信」にしてほしいです。



田井小人権週間【9/12～16】

本校では、9月12日（月）～16日（金）の週を田井小人権週間とし、下記のような内容などの人権教育に集中して取り組みました。

- ① 人権集会
- ② 人権に関する学習の授業公開
- ③ 人権・同和教育に関する学習会
- ④ 人権標語の作成
- ⑤ 人権に関する本の紹介

始業式で話した「他の人を大切にする」ってどんなことなのか、この週間の様々な学習をおして、多くの気づきがあったり、より深く考えたりできたのではないかと思います。

主な学習の様子を紹介します。



《人権集会》

9月12日（月）には、全校で人権集会を行いました。

友だちと助け合うことの良さを感じることができる体験的な活動（誕生日チェーンやフープリレー）をおして子どもたちは、「お互いが助け合うことについて考えること」ができました。また、終末では、友だちが頑張っていることや友だちにしてもらってうれしかったことをほかほかハートに書くことで、「自分や友だちのよさに気付くこと」ができました。

「他の人を大切にする」ことのより具体的な姿だと思えます。今回の気づきをより深めることで、日々の言動につながっていくことを期待しています。



《人権に関する学習の授業公開》

9月15日（木）には、今年度3回目の授業公開日として、人権に関する学習の公開を行いました。今回は、3・4年学級が国語、その他の学級は道徳を行いました。

1・2年学級

資料「わたしはあかねこ」とおして、「自分らしくていい」を感じ取り、自分の気持ちも相手の気持ちも大切にする態度につなげるきっかけにすることができました。

ひまわり学級

資料「くれよんのくろくん」とおして、自分の特徴に気づき、長所を大切に伸ばそうとする気持ちについて考えることができました。

3・4年学級

教材「わたしと小鳥とすずと」を読み味わい、感想を共有することで、一人一人の感じ方の違いなどに気づき、自分の考えを広げたり深めたりすることができました。

5・6年学級

資料「わたしのせいじゃない」とおして、誰に対しても差別や心の偏見をもつことなく、公正・公平の大切さを自覚し、誰もが安心して暮らせる社会や正義の実現に努めようとする気持ちを考えることができました。

《人権・同和教育に関する学習会》

授業公開後、保護者及び教職員、地域の方を対象に、人権・同和教育に関する学習会を行いました。今回は、島根県藤楓協会理事である永江尚美先生を講師に、「『ハンセン病と人権問題』から考える～人間として生きることとは～」



と題し、ご講義いただきました。

いまだに解決されていないハンセン病の人権問題は、国の誤った政策に大きな責任があります。しかし、その政策に同調し差別的言動をとった国民1人1人にも責任があると思います。解決のために、「私達にできること」として次のようにまとめられ、今後の本校の人権教育の在り方と大人たちを含めた私たちの生き方を考えるご示唆をいただきました。

- ◇ ハンセン病と人権について話し合ってみる
- ◇ ハンセン病療養所や資料館を訪ねてみる
- ◇ 療養所を退所された方が近くにいらっしゃったら、積極的に交流してみる
- ◇ 他に何ができるか考えてみる
- ◇ ハンセン病についての正しい知識をもち、それをみんなに伝え、社会から偏見・差別をなくしていく
- ◇ ハンセン病回復者の方々とその家族が安心して暮らせるよう支援していく

《人権標語の作成》

人権週間の様々な学習の成果として、子ども達一人一人が人権標語を作成します。

9月26日(月)の週には完成し、昇降口に掲示するので、10月号で紹介します。

《人権に関する本の紹介》

学校図書館に「人権にかかわる本」のコーナーを設け、子ども達がいつも以上に本に触れる機会を増やしました。

また、しゃぼんだまタイムや学活などで、「人権にかかわる本」を読み聞かせする機会も増やしました。



ようこそリア先生

1学期のアービン先生に代わり、2学期からALTとして、リア先生(アレクサンドリア・ホワイトさん)が赴任しました。3年生以上は外国語活動や外国語科の授業でお世話になります。1・2年生も、昼休み



などに一緒に遊んだりすることもあると思います。リア先生といろいろなお話をして、リア先生のことを知ってほしいと思っています。

＜リア先生からのメッセージ＞

はじめまして、アレクサンドリア(リア)・ホワイトと申します。2学期からALT(外国語実習助手)として外国語活動でお世話になり、色々な国際交流を楽しみにしています。アメリカのイリノイ州出身で物作りと自然の写真を撮るのが好きです。よろしくお願いします。

お礼

8月21・28日(日)に奉仕作業(28日は吉田町内学校一斉)を行った際には、多くの保護者の皆様をはじめ、田井地区振興協議会の皆様にもご協力いただきました。おかげさまで気持ちの良い環境の中、2学期を迎えることが出来ました。ありがとうございました。

今後も、田井の子ども達はもちろんですが、吉田町内の子ども達を吉田町内の大人たちで支える取組にご理解とご協力いただきますようお願いいたします。

お知らせ~ホームページ更新~

2学期もホームページを更新し、日々の学校の様子を簡単にお伝えしています。

校報よりも写真は見やすいですので、たくさんの方にご覧に頂けると嬉しいです。「雲南市立田井小学校」で検索し、ぜひご覧ください。

今後の主な行事予定(～10/31)

＜9月＞

- 28日(水) 支援ボランティア(草取り)
三浦スクールカウンセラー来校
- 29日(木) 上山探検(低学年)
- 30日(金) 陸上大会壮行式
吉小との交流学習(低学年)

＜10月＞

- 4日(火) 市陸上大会
- 6日(木) 歯科検診
浄水場・下水処理場見学(中学年)
- 12日(水) 支援ボランティア(芋ほり)
- 16日(日) うんなん家庭の日
- 18・19日(火・水)
吉小との交流学習(高学年：小だたら操業)
- 21日(金) 授業公開日 給食試食会 学級懇談
- 25日(火) 食の学習(高学年)
- 26日(水) 三浦スクールカウンセラー来校
校内ロードレース大会
- 31日(月) お弁当の日